

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2000-131191(P2000-131191A)

【公開日】平成12年5月12日(2000.5.12)

【出願番号】特願平10-334882

【国際特許分類第7版】

G 0 1 M 11/02

G 0 1 M 11/00

【F I】

G 0 1 M 11/02 B

G 0 1 M 11/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月17日(2005.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光手段と受光手段を持ち、かかる発光手段と受光手段の間に被検レンズを挿入することにより、該被検レンズの透過率を測定する光学系を有したレンズメータにおいて、

該透過率に用いる前記発光手段に紫外光LEDを用い、前記被検レンズの紫外光領域の前記透過率を算出する算出手段と、該算出手段による前記透過率を表示する表示手段を有したことの特徴とするレンズメータ。

【請求項2】

前記紫外光LEDの波長が、紫外光領域の上限領域である350～400nmであり、かかる波長を有する該紫外光LEDからの光の前記透過率を算出して表示する請求項1記載のレンズメータ。

【請求項3】

レンズメータ本体のレンズ受下方において、前記被検レンズを挿入できるように空間が設けられており、この空間に挿入配置された該被検レンズを対象として前記透過率を測定する請求項1又は2に記載のレンズメータ。

【請求項4】

前記紫外光LEDからなる光源と、該光源から投射されて前記被検レンズを透過せしめられた測定光束を受光する光電変換素子とを含んで構成された、前記透過率を測定する光学系を、該被検レンズの光学特性を測定する光学系とは別に設けた請求項1乃至3の何れか一項に記載のレンズメータ。

【請求項5】

前記被検レンズの光学特性を測定する光学系の投射光学系にハーフミラーを加えて、該光学特性を測定する光学系の光源と、前記紫外光LEDからなる光源とを切り換えることにより、該被検レンズの光学特性を測定する光学系と該被検レンズの前記透過率を測定する光学系とにおいて、該被検レンズを透過した測定光束の受光側の光学系を別に設けずに共用した請求項1乃至3の何れか一項に記載のレンズメータ。